

埼玉県発達障害総合支援センター 発達障害児支援における研修体系(令和3年度)

別添資料2

研修の対象者	保育所・幼稚園・認定こども園・地域子育て支援拠点の職員		市町村職員 (障害福祉・子育て支援・母子保健担当等)		障害児通所支援事業所(児童発達支援センター・事業所、放課後等デイサービス)職員	小学校教員
	発達支援サポーター育成研修受講者	発達支援サポーター育成研修修了者(レベルアップ)	発達支援マネージャー育成研修受講者	親子教室等直接支援を行う保健師等職員		
全般的事項	発達障害者支援法の理念、県や市町村の責務、発達障害者が利用できる各種サービス、家族支援等について学ぶ			(科目1)発達障害の支援制度		
	発達障害の医学的知識、早期発見・早期支援の必要性、発達障害児と親への支援及びサポート手帳の活用などについて学ぶ	(科目1)発達障害の基礎理解		(科目2)発達障害の基礎理解	(受講推奨科目)発達障害の基礎理解	(科目1)発達障害の基礎理解
子どもへの支援	地域の支援者が発達障害児にどのように対応しているのかを知り、連携の必要性とその方法を学ぶ	(科目2)地域連携講座		(科目3)地域連携講座		(科目2)地域連携講座
	作業療法士から、子どもの困っている行動のとらえ方や、具体的な対応方法等、地域で発達障害児支援を行うための必要な視点など、発達障害児への療育の基礎について学ぶ		作業療法士による発達障害児への生活支援の実際	(科目5)作業療法士による発達障害児への生活支援の実際	作業療法士による発達障害児への生活支援の実際	
	公認心理師から、子どもの神経心理学的な面からの理解や、保護者への支援のポイント、地域で発達障害児支援を行うための必要な視点などを学ぶ		心理職による発達障害児とその保護者への支援の実際	(科目5)心理職による発達障害児とその保護者への支援の実際	心理職による発達障害児とその保護者への支援の実際	
	「実践に活かす 気になる子への支援ガイドブック」を活用しながら、演習(子どもの認知特性を疑似体験等)や講義を通じて発達障害特性への理解を深め、特性に応じた環境設定について学ぶ	(科目3)特性理解と支援ガイドブック活用		(科目4)特性理解と支援ガイドブック活用		
	発達障害の特性について理解を深め、子どもの支援ニーズを捉える行動観察のポイントや、構造化等による環境支援の方法を学ぶ				発達障害と環境支援	
	小学校生活でつまづきを経験する可能性がある場面や、特別支援教育や通常学級での個別の配慮の例、子どもに分かりやすい環境を整えるための構造化を学ぶ		発達障害のある子供の小学校生活への支援①～連携のための基礎知識～	(科目5)発達障害のある子供の小学校生活への支援①～連携のための基礎知識～	発達障害のある子供の小学校生活への支援①～連携のための基礎知識～	
	通所支援事業所等と家庭との連携を図るための工夫の例などから、生活スキル習得のために日常生活の場面でできる支援について学ぶ				発達障害のある子供の小学校生活への支援②～少し先の将来を見据えた生活スキル習得のために～	
	発達障害専門医療機関の療育現場で行われている子どもの発達特性に応じた療育を行うためのアセスメントや、療育場面における子どもと家族への支援のポイントを学ぶ				発達障害専門医療機関で行われる療育から発達障害支援を学ぶ～専門医療機関の専門職が行う療育とは～	
	発達の特性的な子どもを理解・分析するための手法として応用行動分析の基礎を学び、ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)の演習等を行うなど集団療育の手法を学ぶ			(科目5)学齢期のSST実践研修	学齢期のSST実践研修	
	感覚運動遊びの実践を通して、人によって感覚の受け取り方に違いがあることを体感し、作業療法士から、発達障害児の発達を促す遊び方と支援のポイントについて実習形式で学ぶ	(科目3)感覚運動遊び支援実践研修①	感覚運動遊び支援実践研修①	(科目4)感覚運動遊び支援実践研修①	感覚運動遊び支援実践研修①(感覚の受け取り方の違いを知る)	
		(科目3)感覚運動遊び支援実践研修②(①修了者のみ)	感覚運動遊び支援実践研修②(①修了者のみ)		感覚運動遊び支援実践研修②(①修了者のみ)(スムーズな体の使い方を育む関わり方を知る)	
	乳幼児健診などで用いられる一次スクリーニングツール(M-CHAT)や発達障害の特性をより細かく評価し、支援のニーズをつかむためのアセスメントツール(JSI-R)について学ぶ。		発達障害アセスメント研修①基本編(M-CHAT)	発達障害アセスメント研修①基本編(M-CHAT)	発達障害アセスメント研修①基本編(M-CHAT)	
					発達障害アセスメント研修②応用編(感覚プロフィール)	
女の子の発達障害について、発達段階に応じた特徴の現れ方や、成長につれて課題となってくるコミュニケーション面の困難さ、家庭や生活の場でできる支援や工夫を学ぶ。				【トピック研修】女の子の発達障害の理解と支援		
発達障害児とその保護者を対象とした親子療育グループを見学・参加しながら、視覚支援や構造化、感覚統合、親支援等の要素を療育グループに活かす方法を学ぶ		親子グループ支援実践研修		親子グループ支援実践研修		
親への支援	幼児期の「気になる子」という段階での保護者との関係づくりや、コミュニケーションの土台となる発達特性に関する適切な理解を、演習やロールプレイ等を通じて学ぶ	(科目3)保護者への支援	保護者への支援	(科目4)保護者への支援		
	幼児期から学齢期を中心に、保護者支援において支援者に求められる基本的な心構えや、気づきの後に続く障害受容のプロセスを学び、各ステージにおける保護者の心境を理解し、気持ちを配慮しつつ相談に応じることができるようになることを目指す				気づきから保護者との協働にむけて～子育ての道のりを支えるために～	
	子どもの発達に悩みを抱える保護者のストレスマネジメントに重点を置いた「ストレス解消！楽しい子育て応援講座」を開催するノウハウや業務の中で行う支援に活用できるスキルを学び、地域の支援機関で親支援を実施できるようになることを目指す			(科目5)ストレス解消！楽しい子育て応援講座	ストレス解消！楽しい子育て応援講座 トレーナー養成研修	
	保護者向けペアレント・プログラムに参加し、解説を受けることでプログラムを実施するノウハウを学び、地域の支援機関での親支援を実施できるようになることを目指す		ペアレント・プログラム支援者育成研修	(科目5)ペアレント・プログラム支援者育成研修	ペアレント・プログラム支援者育成研修	
	発達障害児を対象としたペアレント・トレーニング講座の自主的な運営を目標として、ペアレント・トレーニングの基礎理論及び運営手法を学ぶ			(科目5)ペアレント・トレーニング指導者育成研修	ペアレント・トレーニング指導者育成研修	
発達障害児を対象としたペアレント・トレーニングのグループを見学し、解説を受けることで、より効果的な運営について学び、自身のスキルのブラッシュアップを図る				ペアレント・トレーニング指導者実践研修(令和3年度中止)		
事例提供者の事例について、子どもの生活上課題となっている行動の要因を分析し、支援計画を作成する。約4か月間支援した結果を振り返り、今後の現場での対応に活かす支援の一連のプロセスを学ぶ	(科目3)ケーススタディー	ケーススタディー	(科目4)ケーススタディー			
市町村で実施する保育所・幼稚園等への巡回支援・相談の取組の実践について学び、巡回支援・相談の手法について学ぶ			(科目5)保育所・幼稚園等の巡回支援事業に係る研修会			

【発達障害支援専門研修を受講するコース】(障害児通所支援事業所職員、直接支援を行う保健師等市町村職員が対象)

- 計4科目の受講により、「発達障害支援専門研修ベーシック」の修了証を交付(発達障害児支援の経験の浅い方は「発達障害の基礎理解」受講をお勧めします)
- 「発達障害支援専門研修ベーシック」修了後、さらに2科目以上の受講により、「発達障害支援専門研修アドバンス」の修了証を交付